

HVS-6000/6000M セットアップガイド

2120ROU/2240OU/2240OUA/3320OU

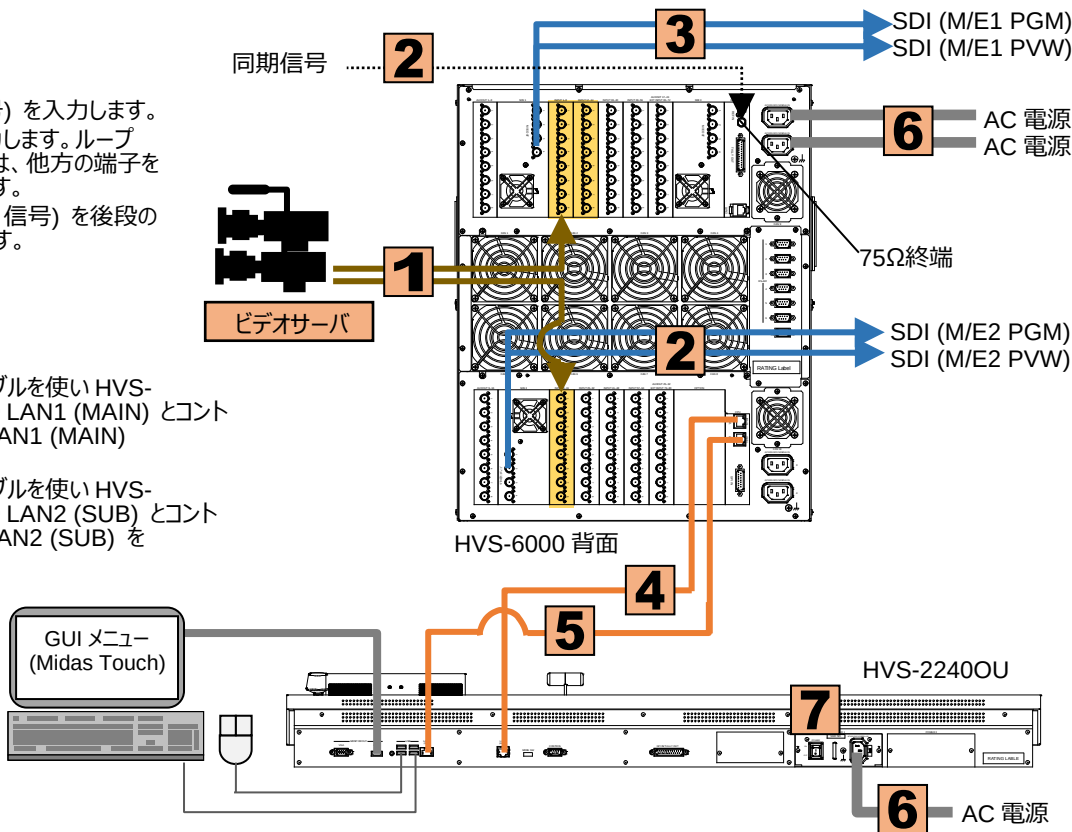
FOR.A®

24h
365 days サービスセンター 03-3446-8575

1. 接続

- (1) 映像 (SDI 信号) を入力します。
- (2) 同期信号を入力します。ループスルーしないときは、他方の端子を 75Ω で終端します。
- (3) 合成出力 (SDI 信号) を後段の機器に接続します。

- (4) OU 付属のケーブルを使い HVS-6000/6000M の LAN1 (MAIN) とコントロールパネルの LAN1 (MAIN) を接続します。
- (5) OU 付属のケーブルを使い HVS-6000/6000M の LAN2 (SUB) とコントロールパネルの LAN2 (SUB) を接続します。



- (6) 付属の電源ケーブルを使い HVS-6000/6000M とコントロールパネルに電源を供給します。
- (7) コントロールパネルの背面にある電源スイッチを ON にします。
- (8) HVS-6000 前面にある電源スイッチを ON にします。

3. システムモードの選択

- (1) システムを起動すると、コントロールパネルにメニューが表示されます。メニュー画面の上部で **SETUP** タブをタップします。
- (2) **SYSTEM**、**FORMAT** ボタンを押し、[SETUP > SYSTEM > FORMAT]メニューを開きます。
- (3) **F1**を回し、スイッチで使用するビデオ信号のフォーマットを選択し **F1**を押します。
- (4) **F2**を回し、アスペクト比を選択します。
- (5) **REBOOT** ボタンをタップし、[SETUP > SYSTEM > REBOOT] メニューを開きます。
- (6) **F1**を回して REBOOT を **EXEC** に変更し、**F1**を押します。確認ダイアログで **YES** をタップします。再起動後、指定したフォーマットに切り換わります。

使用上の注意

- 指定電圧以外の電源電圧は使用しないでください。
- 必ずアースをとってください。
- 電源コードのプラグおよびコネクタはしっかりと差し込んでください。
- 基板等の取付は、必ず電源を切ってから行ってください。
- パネルやカバーを外したままで保管や使用をしないでください。

- 高温多湿、塵埃が多い、振動がある場所などには設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 内部に水や異物を入れないでください。万一入った場合は、すぐ電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて内部から取り出すか、販売代理店、サービスセンターへご相談ください。
- 電源が入らない、異臭がする、異常な音が聞こえるときは、すぐに電源を切り、販売代理店、サービスセンターまでご連絡ください。

4. 出力映像を選ぶ

M/E1PGM の映像を選ぶ

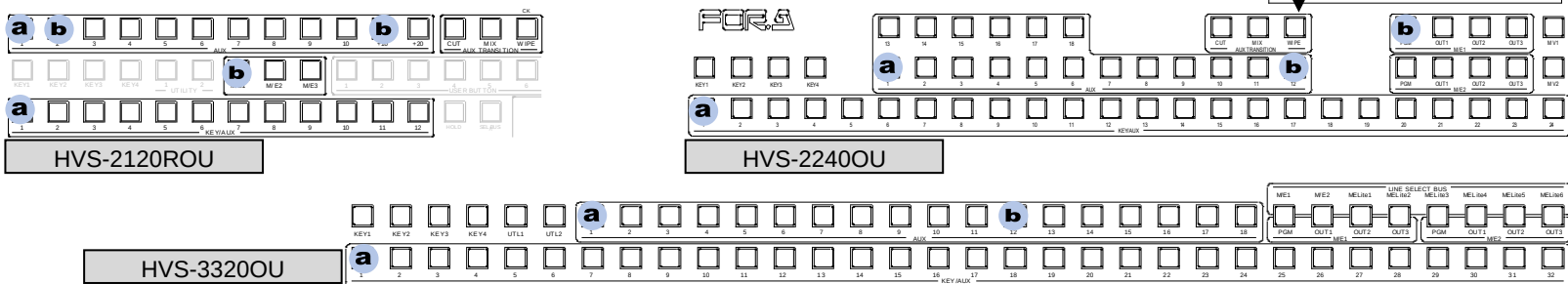
M/E1PGM 列のボタンを押します。ボタンのソース映像が **M/E1 OUT1** 出力に表示されます。

M/E2PGM の映像を選ぶ

M/E2PGM 列のボタンを押します。ボタンのソース映像が **M/E2 OUT1** 出力に表示されます。

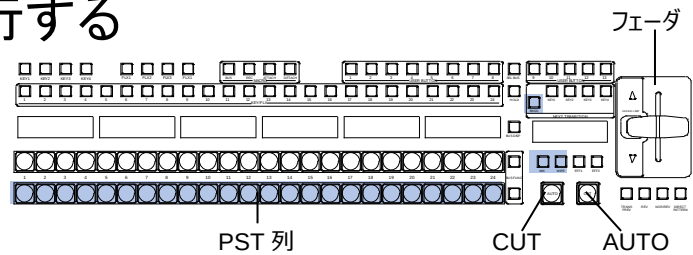
AUX 出力の映像を選ぶ

- AUX1 に INPUT1 映像を出力するには、**AUX1**、次に **1** を押します。
- AUX12 に M/E1PGM 映像を出力するには **AUX12**、次に **M/E1PGM** を押します。(HVS-2240OU)
AUX+10を押しながら **AUX2** を素早く二度押してメニューを表示し、**M/E1** ボタンを押します。(HVS-2120ROU)
AUX12 を素早く二度押してメニューを表示し、**F2** を回して **M/E1PGM** を選択します。(HVS-3320OU)



5. バックグラウンドのトランジションを実行する

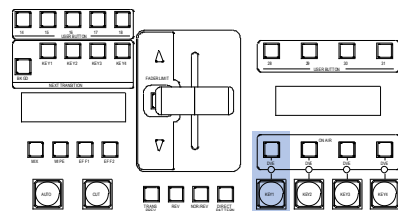
- (1) PST 列のボタンを押し、ネクスト映像を選びます。
 - (2) **CUT** を押すと CUT トランジションが実行されます。**[BKGD]** 点灯
MIX、次に **AUTO** を押すと MIX トランジションが実行されます。
WIPE、次に **AUTO** を押すとバタートランジションが実行されます。
フェーダを端から端へ動かして、トランジションを実行することもできます。
- ※ 他のパターンを選ぶときは、**WIPE** をすばやく 2 度押してメニューを表示します。
F3 を回してパターン番号を選びます。
- ※ トランジションを実行すると、バックグラウンドはネクスト映像に切り替わります。映像が切り替わると、PGM 列と PST 列の映像信号もスイッチします。



6. KEY のトランジションを実行する

M/E2 の KEY1 を使いロゴを表示する手順を説明します。IN11、IN12 にロゴの FILL/KEY 信号が入力されているものとします。

- (1) 左上の **M/E1,2 DSK**、次に **M/E2 KEY1** を選択して [M/E1,2 DSK > M/E2 > KEY1 > SRC/INS] メニューを表示します。
 - (2) **F1** を回し **TYPE** 項目を **BUS** に設定します。
 - (3) **F3** を回して **INSERT SIGNAL** (fill) 項目で **IN11** を選択します。**F4** を回して **SOURCE SIGNAL** (key) 項目で **IN12** を選択します。
 - (4) **KEY1 ON AIR** を押すと、KEY1 が PGM 映像にカットインします。(KEY1 が画面に表示されているとき、**KEY1 ON AIR** が点灯します。)
 - (5) **KEY1 AUTO** を押すと、KEY1 が PGM 映像からフェードアウトします。
- ※ KEY1-4 は BKGD トランジション部でもトランジションを実行できます。



メールアドレスを登録すると、取扱説明書／各種資料がダウンロードできます。



HVS-6000/6000M 3355OU/OUA

セットアップガイド

HVS-6000/M 同梱品
電源ケーブル
ラック取付金具
CD-ROM (取扱説明書)
セットアップガイド (本書)

HVS-3355OU/OUA 梱包品

<OU ユニット構成>
コントロールユニット (1)
タッチパネルユニット (1)
AUX BUS ユニット (1)
LINE ユニット (3)

<その他の梱包品>

LAN ケーブル (6)
RS-422 ケーブル (1)
AC 電源ケーブル (1)
DC 電源用キャノンケーブル (5)
コントロールユニット取付金具 (1)

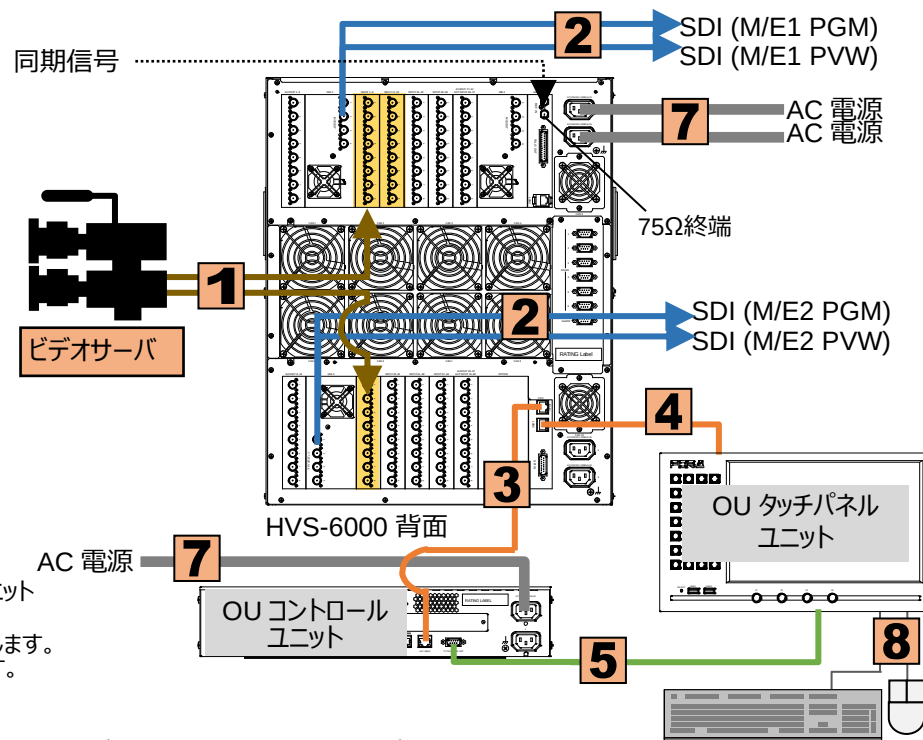
FOR.A®

24h
365 days サービスセンター 03-3446-8575

1. 接続

- (1) カメラやビデオ機器から映像信号 (SDI 信号) を入力します。
- (2) 合成出力 (SDI 信号、PGM/PVW 出力) を後段の機器に接続します。
- (3) 付属の LAN ケーブルで、メインユニット (MU) と OU コントロールユニットを接続します。
LAN1 (MAIN) 同士を接続してください。
- (4) MU と OU タッチパネルユニットを接続します。
付属の LAN ケーブルを使用して、LAN2 (SUB) 同士を接続してください。
- (5) 付属の RS-422 ケーブルを使用して、OU コントロールユニットと OU タッチパネルユニットを接続します。
(詳しくは下記 2 章を参照)
- (6) OU AUX BUS ユニット、OU LINE ユニートを OU コントロールユニットに接続します。
(詳しくは下記 2 章を参照)
- (7) 付属の AC 電源ケーブルを使い、MU、OU コントロールユニットに AC 電源を供給してください。
- (8) 必要に応じてマウス、キーボードを OU タッチパネルユニットの USB ポートに接続してください。
- (9) OU タッチパネルユニット背面の電源スイッチを ON にします。
OU (コントロールユニット) の電源スイッチを ON にします。
MU の電源スイッチを ON にします。

※ MU の電源ケーブルを外すときは、電源を OFF 後、電源 LED がオレンジ点灯するまでお待ちください。



2. OU コンポーネントユニットの接続

LAN 接続

付属の LAN ケーブルを使用し、AUX BUS ユニット、LINE ユニートをそれぞれコントロールユニットに接続します。
LINE ユニット 1、2、3 は、接続するコントロールユニットのポートによって決まります。

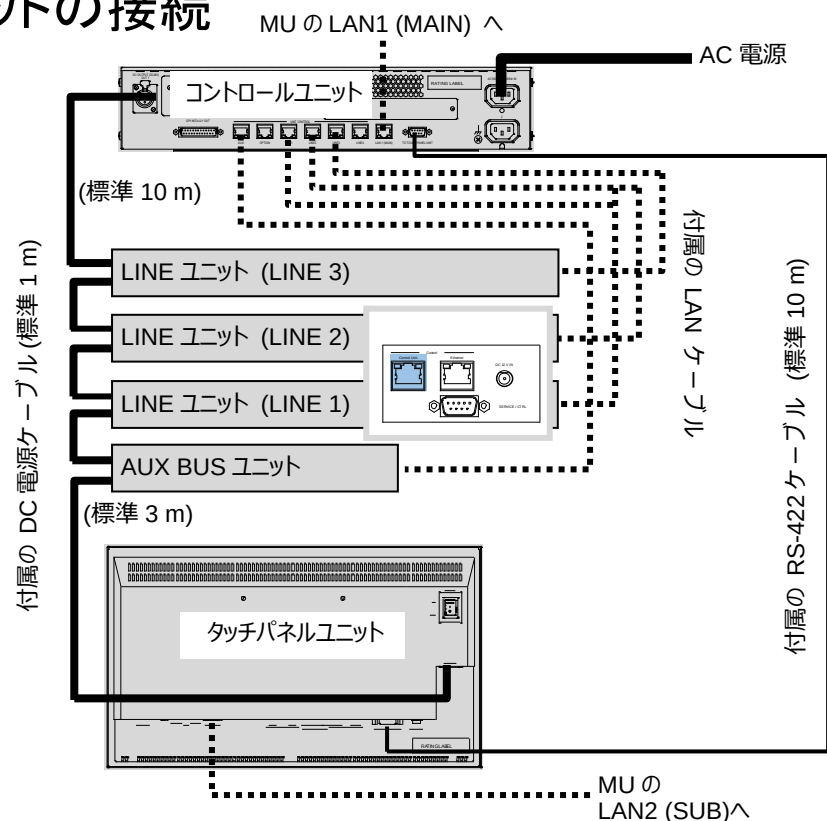
RS-422 接続

付属の RS-422 ケーブルを使用し、コントロールユニットとタッチパネルユニットを接続します。
コントロールユニットの TO TOUCH PANEL UNIT ポートとタッチパネルユニットの TO CONTROL UNIT ポートをつないでください。

電源接続

付属の DC 電源ケーブルを使って、コントロールユニットと他のユニットを、右図のようにデジチェーン接続します。接続の順序は問いませんが、タッチパネルを接続の最後に配置してください。

通電中に電源ケーブルを抜き差ししないでください。



※ タッチパネルユニット、LINE ユニット、AUX BUS ユニットには、AC アダプタを使って電源を供給することもできます。
AC アダプタを使用する場合は、DC12V IN へ入力してください。

3. システムモードの選択

- (1) タッチパネル左の [SYSTEM]メニューボタンを押します。画面左側にある **SYSTEM** タブをタップして、[SETUP > SYSTEM > SYSTEM] メニューを開きます。
- (2) **FORMAT** 設定をタップします。[F1]のつまみを回し、使用するビデオ信号のフォーマットを選択し[F1]を押します。
- (3) **MU REBOOT** をタップします。確認ダイアログで **YES** をタップします。再起動後、スイッチは指定したフォーマットに切り替わります。

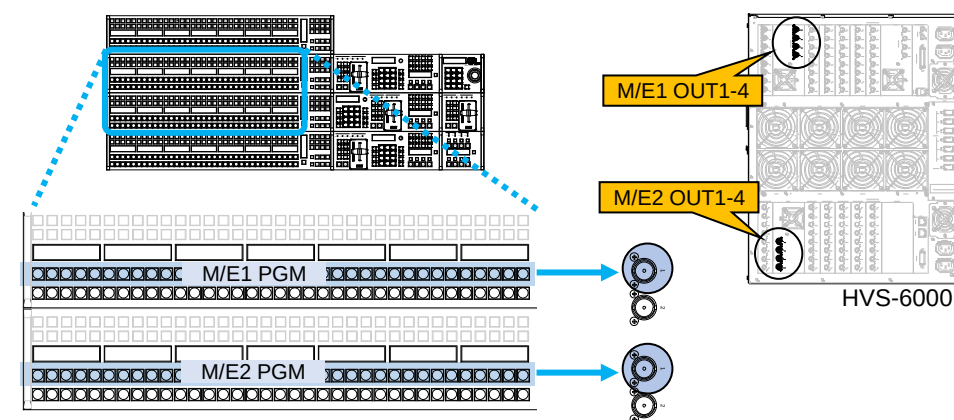
4. 出力映像を選ぶ

M/E1PGM の映像を選ぶ

M/E1PGM 列のボタンを押します。ボタンのソース映像が **M/E1 OUT1** 出力に表示されます。

M/E2PGM の映像を選ぶ

M/E2PGM 列のボタンを押します。ボタンのソース映像が **M/E2 OUT1** 出力に表示されます。



5. バックグラウンドのトランジションを実行する

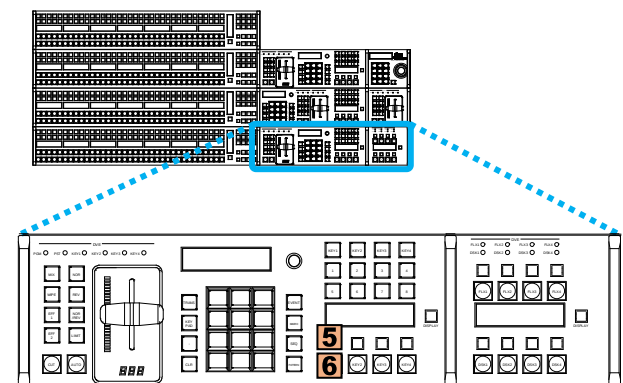
M/E の BKGD トランジションの操作手順を説明します。

- (1) PST 列のボタンを押し、ネクスト映像を選びます。
 - (2) **CUT**を押すと CUT トランジションが実行されます。
MIX、次に **AUTO**を押すと MIX トランジションが実行されます。
WIPE、次に **AUTO**を押すとバタートランジションが実行されます。
フェーダを端から端へ動かして、トランジションを実行することもできます。
- ※ 他のパターンを選ぶときは、**WIPE**をすばやく 2 度押してメニューを表示します。[F3]を回してパターン番号を選びます。
※ トランジションを実行すると、バックグラウンドはネクスト映像に切り替わります。映像が切り替わると、PGM 列と PST 列の映像信号もスイッチします。

6. KEY のトランジションを実行する

M/E2 の KEY1 を使ってロゴを表示する場合の手順を説明します。
IN11、IN12 にロゴの FILL/KEY 信号が入力されているものとします。

- (1) タッチパネル左の **KEY/FLX**メニューボタン、次に **M/E2**メニューボタンを押して [FUNCTION > KEYS DSK > SRC/INS > M/E2] メニューを表示します。
- (2) **F1**を回して **TYPE** 項目を **BUS** に設定します。
- (3) **F3**を回して **INSERT SIGNAL (fill)** 項目で **IN11** を選択します。
- (4) **F4**を回して **SOURCE SIGNAL (key)** 項目で **IN12** を選択します。
- (5) **KEY1 ON AIR**を押すと、KEY1 が PGM 映像にカットインします。
(KEY1 が画面に表示されているとき、**KEY1 ON AIR**が点灯します。)
- (6) **KEY1 AUTO**を押すと、KEY1 が PGM 映像からフェードアウトします。



メールアドレスを登録すると、取扱説明書／各種資料がダウンロードできます。

<https://www.for-a.co.jp/>

